

第2期西脇市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対し、頂いた御意見の概要と西脇市の考え方

1 募集期間:令和 2年 2月25日 ~ 令和 2年 3月25日

2 提出件数:5件(3人)

3 主な意見とその対応

(1) 意見を反映したもの(1件)

ページ	項目等	意見等の概要	件数	意見等への考え方
50、52、54	<p>基本目標3 一魅力あふれる『まちの元気づくり』に取り組みます</p> <p>施策の基本的な方向性 ①一『ひとの元気づくり』を進めます</p> <p>具体的な施策 ②一生涯にわたるスポーツ・文化に親しむ環境を整えます</p>	<p>西脇市の労働人口の減少は大きな課題であり、これまでの生き方を考え、未来に対応していく必要がある。</p> <p>そこで、全世代型のリカレント制度を提案する。高等教育だけではなく、常に新しい技術や情報を学び、活用し、一人で複数の仕事ができるようにすれば必要な労働力がある程度まかなえ、個人の活躍にもつながると考える。</p> <p>予算や人員は限られていると思うので、IT技術を活用しながら市民を巻き込む体制を構築していく必要がある。</p>	1	<p>計画案P50の「背景・概要」にも記載しているとおり、人生100年時代と呼ばれる長寿化の進行に伴って、より豊かに人生を送りたいと願う人が増えており、その活動・活躍の場を創出していくことが重要であると考えています。このため、P52の「施策の基本的な方向性」において、健康の増進・維持や生涯学習の取組を進め、生涯にわたって活躍できる社会の実現を目指していくこととしています。</p> <p>御意見のとおり、リカレント教育は重要な取組であることから、P52の「施策の基本的な方向性」に「リカレント教育など生涯にわたって学び続けられる環境づくりに取り組み」ことを記載するとともに、P54の「想定される主な取組」の「生涯学習推進計画の策定」において、「生涯にわたって学習する機会の創出」を進めることを記載しました。</p> <p>なお、Society5.0時代の到来など、情報通信技術の発展には目覚ましいものがあります。IT技術などは、効果的に施策・事業を推進していくための手段として活用していく必要があることから、技術の進歩・動向などを把握していく必要があることから、本計画の資料編において、Society5.0の概要について記載しています。</p>

(2) 既に盛り込み済みのもの(2件)

ページ	項目等	意見等の概要	件数	意見等への考え方
43	<p>基本目標2 一活力みなぎる『しごとづくり』に取り組みます</p> <p>施策の基本的な方向性 ①一地域に活力を生む商工業を振興します</p> <p>具体的な施策 ③一地域に根差した事業者を支援します</p>	<p>西脇市には中小事業者が多いが、経営者の高齢化などが進んでおり、後継者問題が発生しつつある。</p> <p>地域の産業を維持していくためには事業承継に取り組む必要がある。</p> <p>M&Aや人材の招聘などには高度なノウハウが必要であり、市役所や商工会議所などの支援・後押しが必要ではないか。</p>	1	<p>計画案P43の「想定される主な取組」の「地域企業の経営継続の支援」に記載しているとおり、事業承継に係るセミナー等の開催など、中小企業経営者の事業承継について支援していくこととしています。</p> <p>本市は、近隣市と比較して中小企業の割合が高くなっており、地域産業を維持する上で、事業承継の重要性が高まっていると認識しています。御指摘のとおり、事業承継には高度なノウハウが必要であることから、市だけではなく、県、商工会議所や地域金融機関など、関係機関と連携しながら、支援していきたいと考えています。</p> <p>また、本計画とは別に策定する「経済振興アクションプラン」においても、同趣旨の取組を定めています。</p>

62	<p>基本目標3 ー魅力あふれる『まちの元気づくり』に取り組みます</p> <p>施策の基本的な方向性 ③ー『地域の元気づくり』を進めます</p> <p>具体的な施策②ーデマンド型交通を導入します</p>	<p>タクシーのようなマイクロバスの仕組みづくり、新庁舎・国道175号に近い新西脇駅の充実、加古川駅～谷川駅間の直通列車の運行など、公共交通機関の充実を検討すべきである。そのために、市民が年間乗り放題券を購入するなどの負担があってもよい。</p>	<p>1 計画案P62の「具体的な施策」に記載しているとおり、「公共交通空白地帯を解消するため、市内の各地域と市街地を結ぶデマンド交通を運行することとしており、利用しやすい料金体系の構築や利用者によりやすい車両の導入などを進めていくこととしています。</p> <p>人口減少、高齢化が進行していく中で、公共交通を維持するとともに、高齢者の外出支援などが大きな課題となっていることから、令和3年度から公共交通を再編する予定です。</p> <p>なお、JR加古川線の充実に向けては、西日本旅客鉄道株式会社への要望を継続するとともに、鉄道の利用促進を進めていきます。</p>
----	--	---	--

(3) 反映困難なもの(0件)

(4) 今後の参考とするもの(2件)

ページ	項目等	意見等の概要	件数	意見等への考え方
-	-	<p>中国に端を発した新型コロナウイルスの影響が、消費者や事業者にも及んでいる。事業者の経営安定に向けて支援を検討いただきたい。</p> <p>また、一事業者として危機管理の重要性を再認識した。</p>	1	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法に基づく計画であり、人口減少対策や産業振興、まちの元気づくりなどについて定めるものです。</p> <p>このため、計画案に危機管理に対応した施策は位置付けていませんが、国や県の動向なども踏まえながら、経営基盤の安定に向けた支援を検討していきます。</p> <p>また、各事業者での危機管理体制の構築は、地域の社会経済システムの被害軽減に効果的であることから、西脇市強靱化計画などにおいて、BCP(事業継続計画)の作成などを促進することとしています。</p>
-	-	<p>丹波篠山市と、西脇市・滝野社インターを接続することを希望する。その第一歩として、黒田庄・比延から丹波篠山へつながるハイキングコースを設置してはどうか。</p> <p>地震・水害・免疫に強い安全地方都市を目指し、企業がアクセスしやすい丹波篠山・京都方面への戦略(名古屋・東京につながる戦略)を検討すべきである。</p>	1	<p>本市と丹波篠山市を結ぶ道路には、県道西脇篠山線があります。この道路整備では、地域連携や物流の強化、観光交流の促進による地域の活性化などが期待されます。しかし、未整備区間の整備に向けては課題が多くあると思われることから、関係機関と協議していきたいと考えています。ハイキングコースの設置については、御意見として承ります。</p> <p>なお、南海トラフ大地震のリスクが高まっている現状などを踏まえ、本市の地理的特性を生かしながら企業誘致に取り組むこととしています。</p>

(5) その他(0件)